

(第三種郵便物認可)

顧客ニーズを形に
再保険活用、組織作りなど
多岐にわたる策を提進

**顧客ニ日本を形に
再保險活用、組織作りなど
多岐にわたる策を提供**

ジャパン・リスク・ス
ペシャリスト株式会社と
しての業務開始は200
9年4月1日です。エー
オン・ジャパン（当時）の
中で共済や少額短期保険
会社の再保険担当部署を仲介
する部署が弊社の前身で
す。その再保険担当部署
が保険仲立人として、2
006年に別法人、エー
オン・リスク・スペシャ
リストとして設立され、
仲立人認可を得ていま
す。しかしながら、米国
本社がアフニニティ分野
からの撤退を決めたた
め、新たな株主の元、同
業務を引き継ぐ弊社が設
立されました。

シャパン・リスト・ペシャリリスト株式会社としての業務開始は2000年4月1日です。エー オン・ジャパン（当時）の中で共済や少額短期保険会社の再保険契約を仲介する部署が弊社の前身です。その再保険担当部署が保険仲立人として、2006年に別法人、エー オン・リースク・スペシャリストとして設立され、仲立人認可を得ています。しかしながら、米国本社がアフィニティ分野からの撤退を決めたため、新たな株主の元、同業務を引き継ぐ弊社が設立されました。

1. 再保険手配

弊社の業務の柱は3つです。既存の保険商品を販売するのではなく、ニーズに基づいた商品設計を行い、お客様に提供します。アフィニティマーケットや再保険を手配している弊社だからこそ提案可能なケースも多々あります。

基 本 委託はお客様のニーズを把握することです。既存の保険商品を販売するのではなく、ニーズに基づいた商品設計を行い、お客様に提供します。アフィニティマーケットや再保険を手配している弊社だからこそ提案可能なケースも多々あります。

現在、わが国の各業種の事業会社が傘下に保険会社を持つことに関心を持ち、120社を超える少額短期保険会社が設立されています。業法上、設立は登録とされていますが、登録が完了するまで監督厅と何度も協議を重ねる必要があります。

弊社と連携し、設立、運営の支援を行っていきます。保険仲立人として保険元受け契約、キャップテープへの出再、またキャップティップからの再々保険配も弊社で行えます。で、ワンストップでサービス提供が可能です。

また2019年にマレーシアの金融特区でアラブアンにProtect（保護セルキャップティップ）Green Oakを立し、現地で弊社の社員が業務を行っています。

会員登録の手順についてお話しします。まず、会員登録の必要性は高いのではないかと思います。なぜなら、PCCSをご利用いただくことでキャプティブ機能を広く活用いただけます。「よくある事故から」という理由で保険の更改を見送るうと考える企業があります。しかし、キャプティブを利用すれば掛け捨てだった保険料を再保険の形でキャプティブに留保でき、無駄なく保険をかけることができます。

院のご紹介を昨年から始めています。日本ではまだ引き受けにいたがる保険会社は限られていますが、必要性が高まっています。引き受け業務経験者を探用し、新たな顧客ニーズに応える体制を整えています。

は、甚大な損害が頻発し、重要度を増しています。

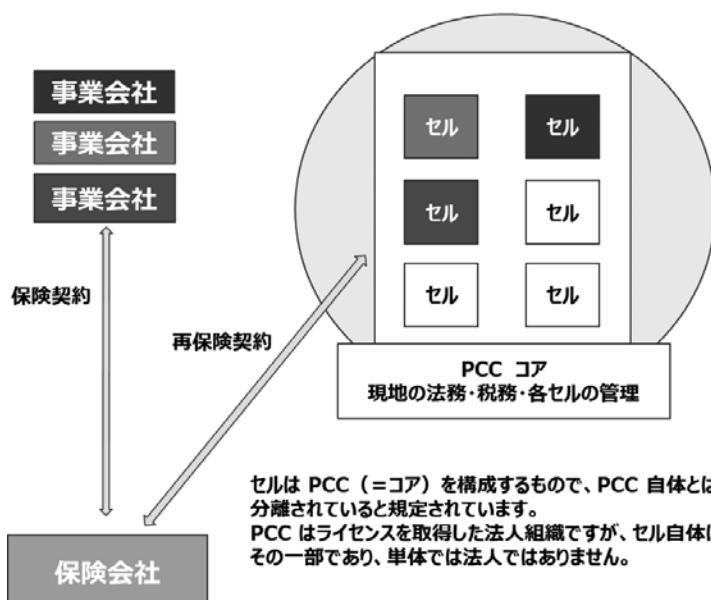
れます。
キャプティップの利用は
一握りの大手企業だけの
ものではありません。資

く概念が異なりますが、
クレジットリスク、ポリ
ティカルリスク、表明保
証といった比較的新しい

ジャパン・リスク・スペシャリスト株式会社

1

PCC (保護セルキャプティブ)



セルは PCC (=コア) を構成するもので、PCC 自体とは分離されていると規定されています。PCC はライセンスを取得した法人組織ですが、セル自体はその一部であり、単体では法人ではありません。